



必要に応じて
改善・再実施

「社会教育事業企画検討会」

毎年度公募。会議は月1回程度。

こんな事業がしたい！
こんな住民の声があるが、応えられないか？

...などのボラスタの発案等

より自由な学びを
自主・自立を一層促進

町の課題解決の方策として
町へ提案・ニーズ情報提供

「生涯学習ボランティアスタッフ」が
事業ごとに実行委員会等を組織し計画

「安平町教育委員会」
が主催者として計画

全て
自主的に

支援要請

予算必要

予算不要

町バスを除く
「町の予算を
必要としない
事業」

必要に応じて
「町が出前講座方
式等により経費支
援する事業」

必要に応じて
「町の予算に
より実施する
事業」

町バスを除く
「町の予算を
必要としない
事業」

審査会の採択
を経て町バス
支援決定

審査会の採択を
経て支援決定

決裁を経て
実施決定

教育委員会は側面から支援・アドバイス

「生涯学習ボランティアスタッフ」は企画者&運営者として活躍

～発案事業が実現～

「ボラスタ」が、評価・反省も責任を持って実施

教育委員会内でも評価・反省

生涯学習の入口へようこそ！

左の図全てのプロセスが生涯学習の場
羽ばたいていくまでの学び合い(トレーニング)の場

自ら新規団体・実行委員会を組織、道や町の各種委員に抜擢など、
まちづくりのキーマンとして「卒業...次のステージを求めて羽ばたいていく」